

南山城

議会だより



No.126

2020.2.1

南山城村議会



12月定例会

2P 補正予算

全ての補正予算を全員賛成で可決

4P 契約

道の駅横に医療施設建設始まる

5P 研修報告

広島県世羅町と鳥取県日南町を視察

6P 委員会報告

総務厚生 高齢者施設について論議

土木経済 きのこと工場稼働2年遅れ

8P 一般質問

7人が村政を問う

16P ここにこの人

第72回関西茶品評会 「農林水産大臣賞」を受賞

中窪 耕司 さん

出初式 放水

南山城村消防団

全員賛成で可決

12月定例会



自然が薫る南山城村

② 補正予算

④ 条例改正など

⑥ 常任委員会報告

⑧ 一般質問・奥森

⑩ 一般質問・久保

⑫ 一般質問・齋藤

⑭ 一般質問・鈴木

⑯ ここにこの人

介護保険補正予算 増額を認める

令和元年第4回定例会が12月5日から25日までの会期で開催しました。令和元年度一般会計補正予算と国民健康保険・簡易水道・介護保険・後期高齢者医療の特別会計は予算決算常任委員会（梅本委員長）に付託され全員賛成で可決しました。「再生可能エネルギー発電設備設置事業に関する条例制定を求める請願」を全員賛成で採択しました。5日には7人の議員が村政を問いました。

予算決算常任委員会

補正

予算

令和元年度
一般会計

補正額（増）

3488万円

総額

27億1816万円

主な内容

総務費

一般事務経費

83万円

民生費

国民健康保険繰出金

74万円

自立支援法給付事業

265万円

老人福祉電話設置事業

7万円

老人医療費支給事業

71万円

介護保険事業繰出金

1070万円

庁舎管理事業

206万円

自治会活動支援事業

20万円

文化会館管理事業

95万円

魅力ある村づくり事業

96万円

その他

242万円

後期高齢者医療繰出金

(減) 129万円

子育て医療支援事業

41万円

保育所運営事業

80万円

農林水産業費

田舎暮らし推進事業

220万円

消防費

相楽中部消防組合負担金

80万円

教育費

相楽東部広域連合負担金

82万円

笠置中学校負担金

(減) 13万円

全ての補正予算を

質問・答弁

Q 庁舎管理事業で今山地区マンホール工事の内容は。

A 村に寄付された土地で、会所柵の下で外れているパイプを繋ぎ直す。

そのままにしておく、陥没する可能性がある。

Q 委託料の宿直事業とは何か。このような時期に出すのはなぜか。

A 宿直の方が辞められた。シルバー人材センター

1に委託したため。

Q 小学校下の「ふれあいの森」の遊具点検の後補修はするのか。

A 今回は点検の予算。不具合があれば修理の予算を出す。

度が終わった。医療費が減ったわけではない。

Q 退職者の給付がなくなつて、1000万円要らないことになる。

A 国保税加入世帯500世帯余りに、年間1万円減額ができないか。

A 激変緩和措置に村が適用されている。国保の広域化が激変緩和が6年続くとは限らないが、検討する余地はある。

質問・答弁

Q 施設介護サービス費当初1億5300万円。今回の3200万円は2割も増えている。どうしたか。

A 当初予算が少ない見積りになっていた。実績から試算したところ、3200万円の増額となった。

令和元年度 特別会計

国民健康保険

補正額(増) 109万円
総額 4億7551万円

質問・答弁

Q 国民健康保険事業納付金がマイナスになっているが、支援金・医療費、高額医療費がからなくなつたのか。

A 退職被保険者療養費が6人から2人に減つてきている。平成27年で制

可決 全員賛成

簡易水道

補正額(増) 22万円
総額 2億3445万円

介護保険

補正額(増) 3548万円
総額 4億2470万円

後期高齢者医療

補正額(増) 506万円
総額 5911万円

可決 全員賛成

可決 全員賛成



村民のあそび場「ふれあいの森」(小学校下)

契約道の駅横に医療施設建設始まる

【土地賃貸借契約締結】

村は、医療法人竹澤内科小児科医院 竹澤 健理事長との間に北大河原殿田16番地に面積495㎡の賃借の契約を交わしました。

可決 全員賛成



竹澤内科小児科医院地鎮祭（道の駅横）

【物品購入契約締結】

競争入札により鳥獣被害用侵入防護柵購入が決まりました。

締結先

J A 京都やましろ
契約金額 1045万円

可決 全員賛成

条例改正

南山城村森林環境贈与税基金条例

国の森林環境税及び森林環境贈与税に関する法律に基づき令和2年度から村の間伐や人材育成・担い手確保、木材利用の促進のため南山城村森林環境譲渡税基金を設置します。

条例の主旨は村でも重要な課題だ。毎年、国民一人10000円の課税でなく、国の林業予算を増やすべきだ。

反対 鈴木、齋藤、中山 賛成 奥森、北、梅本 吉岡、中崎、久保

可決 賛成多数

南山城村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

正規職員との待遇の均

衡を図るため、フルタイム、パートタイム会計年度任用職員について報酬待遇、育児介護の休暇などに見直しを図るものです。

可決 全員賛成

南山城村自治功労者表彰条例等の一部を改正する条例

自治功労者の内、成年被後見人及び被保佐人は被後見人となった後もその待遇が継続するよう条例が改正されました。

可決 全員賛成

南山城村印鑑条例の改正

成年被後見人について印鑑の登録を可能にするもので、法定代理人が同行し本人が申請する場合は登録できる。

可決 全員賛成

南山城村自治功労者



手仲 圓容 さん
田 山

南山城村監査委員



森山 高吉 さん
南大河原

請願

「再生可能エネルギー発電設備設置事業に関する条例の制定を求める」

【趣旨】

豊かな自然環境に恵まれた村では、京都府の認可のもとに大型の「再生可能エネルギー」事業が進行中である。村民の生活や自然環境

保全を守るため、新たに協定に違反した開発行為の指導・中止を求める条例の制定が必要です。

採択 全員賛成

反対討論

齋藤議員

議員研修報告

令和元年11月7日(木)～8日(金)に広島県世羅町と鳥取県日南町の研修を行いました。



広島県世羅町

6次産業で地域づくり

令和元年11月7日広島県世羅町にある世羅高原6次産業ネットワークへ



6次産業推進協議会（広島県世羅町）

研修に行きました。

6次産業に取り組み以前は農業経営に不安定で、農業者の高齢化や、農地の荒廃と耕作放棄地の問題がありました。

観光もグレード感がなく観光客の減少にしてみました。

6次産業ネットワークの設立

世羅高原6次産業推進協議会が平成10年6月設立された。設立にあたって6次産業ネットワークを活用され、加入される法人も徐々に増えてきたそうです。

特に、スポーツドリンクの開発は世羅高校陸上部と一緒に開発され年間10万本売れています。売り上げの一部は世羅高校陸上競技部後援会へ寄付されている。

今後の課題は農家との連携を密に行うことと、道の駅をうまく活用することがとても重要であるとのことでありました。



鳥取県日南町

議員提案が活発

11月8日鳥取県日南町議会へ視察研修しました。2000年に鳥取西部地震で、役場庁舎裏が土砂崩れになり、庁舎を建て替えるに、地元の木を使うことなどで補助金が出ていました。

当村の庁舎も危険な場所であり、日南町のように、うまく補助金を活用できるように進めてほしいものです。

質問回数撤廃・テレビ放映

日南町議会は本会議で



議会をタブレットで（鳥取県日南町）

は質問回数が撤廃され、一般質問では議員の持ち時間を30分から40分に変更し、行政側の答弁の時間は省かれます。

議会はテレビ放映が行われるので、緊張感を持って質問されています。

タブレット活用でペーパーレス

また、日南町は平成27年にペーパーレス化にも取り組まれていてタブレットを活用され、議員提案も活発で一歩進んだ運営をされています。当村もタブレット活用は村長も考えられているようで、今後の議会運営する上で課題である。

総務厚生 高齢者施設について論議

第5回 11月21日

【内容】

①高齢者施設について



議会で研修に行った高齢者施設（奈良市あすなら苑）

・高齢者施設の整備説明は「全員協議会」で。
 ・レイクの改装は、16億から20億と高額。改装

して高齢者施設にすることは難しい。
 ・村では「小規模多機能のような施設がいいのではないか」。
 ・昨年行った、あすなら苑の村城理事長に再度話を聞く。
 ・議会だけではなく、行政側にも聞いてもらわないと進まない。

②議会報告会に向けて

・道の駅横の医療施設の状況内科は来年夏ころには開院される予定

③議会にタブレット導入

・精華町では現在協議中とのことで全協で話し合っているかどうか。

④地域公共交通について

・公共交通地域懇談会の話を聞きたい、地域のバス、Masについて調査していきたい。

土木経済 きのこと工場稼働2年遅れ

第6回 10月31日

【議事】

①企業誘致（きのこ工場）の現状について
 ・2020年度中の稼働が、2022年度に竣工、2023年度初出荷の予定。
 遅れる原因としては、
 ①しいたけ発生率の向上。②オートメーションの強化。③設備投資を抑えたい。
 ・2019年10月から契約が発生。30年間契約で、用地取得・造成費の約7700万円は20年で償還。残り10年は建物の耐用年数分。

説明員

参加 参事 参事 参事
 建設課長補佐



着工が遅れているきのこ工場用地

②村太陽光発電所現地調査（10/4）の状況について

・合同調査の参加者は、FSJ2名、建設関係10名。府関係15名。
 ・調査内容は工事内容と計画が一致の確認。
 ①法令、協定の順守。
 ②仮沈砂池の先行設置および管理。③砂子田川の付け替えの施工手順の提示などの指導。
 質疑として、水利の協議が希薄だ。回答として、開発協定書の中で、道路、河川、水路等の協議を行い、その中で水利の問題も協議。
 協定書は結ばれているが、道路や利水などの個別の協定は結ばれていない。できしだい提示要望。

山城病院組合

第2回定例会が11月11日に開催されました。

【報告事項】

院内透析室などの改装、小児外科・呼吸器内科に常勤医師確保。職員・医師会・介護専門家と共同でワークショップ開催。

- ①消費税増税に伴い、医療センター使用料等徴収条例を一部改正
- ②老人保健施設の使用料・手数料



改装した透析室（京都山城総合医療センター）

徴収条例の改正

承認 全員賛成

平成30年度 事業会計 決算認定	
事業収入	73億6063万円
事業支出	73億5711万円
純利益	351万円
*村分担金	879万円
可決	全員賛成

平成30年度 介護老人保健施設決算認定	
事業収入	5億1617万円
事業支出	5億2322万円
純損失額	705万円
*村分担金	288万円
可決	全員賛成

山城病院組合会計年度任用職員の給与等に関する条例

可決 全員賛成

介護老人保健施設の食費値上げによる使用料・手数料等徴収条例の改正

可決 賛成多数

令和元年度 介護老人保健施設 補正	
歳入・歳出(増額)	330万円
補正後の額	5億4250万円
可決	全員賛成

相楽中部消防組合

第2回定例会が11月26日に開催されました。

相楽中部消防組合手数料条例の一部改正

承認 全員賛成

相楽中部消防組合一般会計補正(第1号)
排ガス規制強化により材料運搬車の年度内調達が不可能で1515万円を繰越明許

承認 賛成多数

平成30年度 一般会計 決算認定

歳入	14億3584万円
歳出	14億244万円
*村分担金	9508万円
可決	全員賛成

相楽中部消防組合火災予防条例一部改正

可決 全員賛成

令和元年度一般会計補正(第2号)	
歳入・歳出(減額)	480万円
補正後の額	14億8240万円
可決	全員賛成

相楽郡広域事務組合

第2回定例会が11月12日に開催されました。

平成30年度 一般会計 決算認定	
歳入	2億9494万円
歳出	2億9312万円
実質収支額	182万円
可決	全員賛成

平成30年度 ふるさと振興事業特別会計決算	
歳入	2727万円
歳出	2198万円
実質収支額	529万円

*村分担金

可決 全員賛成



休日診療が行われている（相楽会館）

ズバリ直言

村政を問う

一般質問 Q&A

奥森

高齢者施設整備に向けた状況は

村長

調査は実施、参入事業者と交渉中



有効利用が待たれる公共用地（今山）

一般質問は事務の執行状況、将来の方針などの所信や疑問をただし、政治責任を明確にし、結果として、「現行の政策変更や新規政策を採択」させる効果があります。



奥森由治 議員

最適なものを調査中。

Q 調査内容は。

A 村長 レイクフォレストリゾートのホテル部門の閉鎖に伴い、用途変更できないかと調査した。用途変更は可能だが設計費が8800万円で、改修費は補助対象にならない。

Q 村では、特養はできないのか。

A 村長 業者が見つければ進めたい。現在、施設利用者は50数人、待機者は8人。近隣の施設もあり緊急の場合でも対応できる。最適なものを、模索している。

Q 2020年までの、第8次高齢者福祉計画「お泊まりデイ」との整合性は。

A 村長 特養のようなものを検討しているが、村内ではむずかしい状況。

Q 近隣に施設もある。再度聞くが、もう施設はやらないのか。

A 村長 特養は入るには高額、運営は100床

ぐらいないと難しい。3社に当たっているが、介護士の空白地帯となっている。非常に厳しい。

Q マンパワーの確保、小規模多機能でも運営は難しい。村が支援しないのか。

A 村長 住民の皆様にも満足いただけるものを模索している。近々、報告できる。

養豚場跡地の利用は

Q 福祉施設等の用地として確保した土地の利用計画は。

A 村長 隣接地が茶畑、進入路も狭い、公社から買戻す場合の財源も必要。様々な形で活用方法について、現在検討している。

Q 土地の購入費1億5千万円、利息で年間240万円の支出となる。

村長としてどのように活用したいのか。

A 村長 庁内職員の案を絞り込んで、検討している。

Q 高齢者の集団住宅や移住・定住促進の住宅など検討してはどうか。

A 村長 そういったものも検討している。

大河原駅舎の利用やロータリーの整備は

Q 計画当初は、喫茶や土産物の販売などを計画していたのでは。

A 村長 スペース問題で難しい。誰にでも使っていただけのような事業展開を検討している。

Q ロータリー整備は、どうなっているのか。

A 村長 コミュニティバスが停められるよう、検討していく。

一般質問

村の一般質問の時間は、質問と答弁を合わせて45分間です。また、村長には議員の質問に対する反問権を付与しています。

中崎

きのこ工場の着工遅延原因は

村長

企業側の都合で遅れている



中崎雅紀 議員

Q 村の発展のため企業誘致は重要だと考えるが、今後どのように進めていくのか。

A 村長 今取り組んでいるのは、きのこ工場と道の駅ホテルがある。今、財源確保のため30年間の賃貸借契約をした。進出企業に地元の雇用確保の協力をお願いしている。

Q きのこ工場の3年間の着工遅延はなぜか。早



きのこ工場予定地（北大河原殿田）

期稼働を働きかけているのか。

A 村長 企業側の研究開発の遅れ。令和元年の10月から借地代は入る。

Q 3年間は、長すぎるのではないか、実際に工場が稼働しても収益が村に波及するか疑問だ。

A 村長 前村長が積極的に推進した事業であるが、今回のことについては、様子を見るしかない。

道の駅の今後の運営は

Q 体験観光を進めていく上で道の駅は起点になる存在だと考えるが、道の駅の運営面に改善の余地があると考えるか。

A 村長 来年には、運営事業者が変わる可能性があるが、IOTを活用し、域内への経済波及を促していく。昨年度は赤字になったが、来客数は現在も好調であり、実際に収益を地域での消費拡大に繋げていける運営に変えていく。

Q 村内の体験観光に具体的な取り組みや構想はあるのか。

A 村長 地元茶業者や森林組合、漁業組合、商工会と連携し、村内で観光として使える資源を確保し、道の駅の運営にも反映させていく。

未給水地の解消は

Q 未給水地の解消は、

村の観光振興にとって重要な問題だと考えるか。

A 村長 調査を基に来年度予算で、具体策を検討していく。観光振興策については、水道だけでなく、道路整備や村内全域を網羅した観光資源の調査を行い、各種団体とも交渉し、村全体の経済振興策として取り組んでいく。



道の駅運営は

③ 補正予算

⑤ 議員研修報告

⑦ 一部事務組合

⑨ 一般質問・中崎

⑪ 一般質問・梅本

⑬ 一般質問・中山

⑮ 議会報告会

議会中継はいつ開始するのか

村長

令和2年度に向けて整備



笹瀬橋付近

Q 高度情報ネットワーク事業の民間移行は予算が成立した。

A 村長 議会中継を含む自主放送開始の目途は、2年間の継続

事業であり、完成後に取り組む。

Q 完成後では、自主放送の追加のために新しいネットワークに更に手を加えなければならなくなることも懸念される。

A 村長 民間移行先の事業者選定段階から、自主放送実施を念頭に置いて検討された。

Q 府道「今山月ヶ瀬線」の整備を

A 村長 府道「今山月ヶ瀬線」には狭隘箇所がいくつもある。整備を急がねばならない。

A 村長 狭隘箇所の調査は完了した。

抜本的に拡幅することが必要であるが、予算の



久保憲司議員

都合もあり、とりあえず側溝に蓋をしたり不使用の電柱を撤去したりして、応急的に対応するよう京都府と協議している。

Q 村道「西中平線」を整備して(仮称)「田山バイパス」を建設する考えはないか。

A 村長 また、これに関連して笹瀬橋の架け替えするよう京都府に申し入れてもらいたい。

A 村長 府道の付け替えとなるので、現状では京都府にその考えはないようである。

Q 道の駅をもっと活用せよ

A 村長 道の駅は開店2年目



道の駅野菜売り場

にして400万円の赤字に転落している。

Q 道の駅周辺に村設の直売所をここに移設してはどうか。

A 村長 その際には、既存の直売所会員には入会金や販売手数料を特別待遇するなど一定の配慮が必要となる。

A 村長 現状では直売所会員からそうした声は

上がっていないが、再度意向調査も行いたい。

Q 道の駅周辺に村設のビニールハウスを建設し、格安で入植者を募り、年間を通じて農産物の供給体制を整えるべきではないか。

A 村長 獣害対策や農業ハウス建設には現在補助制度を設けており、当面はこれを充実させたい。

梅本

医療費無料化高校生までに

村長

実施動向を踏まえ検討する



梅本章一 議員

Q 近隣の市町村では和東町と井手町は高校生まで医療費の無料化を実施されている。いち早く中学生まで無料化していた村が遅れをとっている。平沼村長は、施政方針



村の医療費無料化を高校生までに

で、子育て環境整備の推進が最重要課題と言われている。高校までの医療費無料化を早急に実施するべきだ。
A 村長 現在の府の子育て支援医療費助成制度は、高校生までには至っていない。財政的な裏付けが無い中で、子育て環境整備の推進は今日の村を創る5つ目の課題と掲げ、村の

子育てをしたいと望む人を増やすことは最重要課題と認識している。既に取り組まれている市町の実施状況など動向を踏まえ検討したい。

高齢者施設整備のその後は

Q 第8次高齢者福祉計画第7期介護保険事業計画では、介護施設・高齢者福祉施設等の推進として、通所・訪問介護などの既存サービスに加え「宿泊サービス」の充実に取り組むとある。その後の施設整備の状況はどうなっているのか。

A 村長 この「宿泊サービス」事業には介護保険が使えないが介護報酬の算定で試算すると、5人利用で、年間1280万円となり、個人負担となる。

「宿泊サービス」事業は白紙も視野に入れて結論を出す。

月ヶ瀬口駅整備は

Q 月ヶ瀬口駅の整備は、



高齢者には渡りにくい高架橋（月ヶ瀬口駅）

大河原駅の整備を終えてからと聞いている。来年から「Maas」の実証実験も始まり、月ヶ瀬口駅の使用も増えてくると考える。

トイレの整備、高架橋を使わない方法など早急に行うべきだ。

A 村長 月ヶ瀬口駅整備は必要だと考えている。大河原駅は京都府支援とJRとの取り組みで、京都府駅再生プロジェクトに採択され、改装工事を

行った。月ヶ瀬口駅のトイレはJR所有なので、村がすぐに行えない。関西本線沿線自治体と協力し、駅設備の改善を要望している。

高架橋も、JRは撤去を検討されていて、片側プラットホームの利用となれば、本数の減少も見込まれ村として慎重にJRに協力できるところは協力し、住民の皆さんの意見を届けながら進めていきたい。

開発時の監視活動強化を

府と協力して強化する

Q メガソーラー開発で

①業者が出さないと約束していた泥水が現場下流に流れていた。その原因と対策は。

業者の約束違反や協定書違反時への村対応は。

②メガソーラーが稼働後の安全確認のため、水質などの比較用データは準

備しているのか。

A 村長 ①泥水流失の原因は濁水処理方法不十分が原因。対策として、

業者に改善を指導。業者は濁水処理装置を設置。

今後、協定書等の違反は府と協議し、是正指導を実施。

②水質などの基本データは事業者が事前に殿田川と中谷川の水質検査を実施。データは村も共有。

Q 濁水が流失し、稲の収穫に影響が出たら、業者に補償させるのか。

A 村長 損害が出たら、請求しても問題ない。

Q 村民は開発予定地の山が日々変貌していく姿を見て不安を隠しきれない。村は村民の安心安全を守るために、監視活動



齋藤和憲 議員

を強めることを要請する。

A 村長 府と協力して強化する。

きのこ工場なぜ遅れる

Q 村の税金9600万円をかけた、きのこ工場の稼働が3年遅れると、

固定資産税収入や雇用の開始が遅れる。遅れた理由は、また遅れた時の取り決めはあったのか。

A 村長 企業の量産化の対応が遅れている。取り決めはない。

Q 企業の責任で遅れても、現状では村は何も対応できない。

村独自の「開発条例」を作るべきだ。

村の高校生に通学補助を

Q 全国的に、高校生の教育環境地域格差が大き



未来を担う、若者たち

な問題となっている。京都府でも、通学圏が広がり、村の高校生通学に係る負担は時間的、経済的に増大している。

①通学費無料が理想だが、仮に、JR月ヶ瀬口駅から木津駅間の通学定期を補助した場合、年間費用はいくらか。

②村独自の通学補助をすべきだ。

A 村長 ①この区間を補助した場合、年間通学定期代は382万円。

②村独自の通学費補助は実施する予定はない。

Q 地域格差を無くすために、少しでも交通費を補助すべきだ。

A 村長 検討する。

村行事の無料バスのNTガス店前乗降の実施を

Q 村行事の無料バス運行に村民要望を取り入れるべき。例えば、NTの乗降はロータリー入口のみだが、ガス店前の乗降もできないか。

A 村長 今後の村行事に関して、利用者に配慮したバスの乗降場所を指示する。



田んぼまで迫る、メガ開発

中山

村道整備の進捗状況は

村長

拡幅・待避所増設をさらに進める



中山明則 議員

Q 野殿道（村道大河原多羅尾線）が開通したが、押原入口付近の斜面状況は倒木撤去もなく地面が剥き出しのままである。豪雨による土砂崩れの危険性や通行止めの可能



豪雨による土砂崩れの危険がある（大河原多羅尾線）

性もある。村の対応は。
A 村長 現在土地所有者が保安林防災措置工事計画の提出に向け府と協議を進めている。村道側溝に土砂が流れないようにし、豪雨などで交通に支障がないよう対策を行う。

Q 童仙房道（村道大河原東和束線）の待避所増設・待避所案内看板設置

及び拡幅工事の進捗状況と今後の計画は。

A 村長 待避所増設工事は9月に用地立会いをし、今後用地買収を行い工事を進める。拡幅工事についても、現在工事を実施している。追加工事も交付金等財源確保をし、早期完成に向けて引き続き進めて行く。待避所案内看板の設置工事も順次進めて行く。

Q 緊急車両が通行不能の幅員が狭い村道への対策は。

A 村長 狭い村道については、限られた予算の中で工事を行っていく。

交通地域懇談会の内容を村民に報告せよ

Q 各地5か所で開催された交通地域懇談会の内容を村民に報告し、さらに住民からの活発な意見交流を促すべきである。

A 村長 懇談会で出た意見については、現在取りまとめしており、「地域公共交通会議」で整理し、

ホームページなどでの公表を検討している。

Q 「地域公共交通会議」の議事は、広報などで広く知らせるべきだ。

A 村長 「交通会議」は自由傍聴としている。

Q 来年予定のニュータウンでの電気自動車の実証実験での住民懇談会は事前開催と実験中の開催も計画すべきだ。

A 村長 実証実験後に利用者からの意見・要望を聞き改善を図る。

村民生活を守るため 乱開発規制の条例を

Q 村の開発要項は十分。「開発規制条例」を制定すべきだ。

A 村長 村民生活の安全・安心を脅かす恐れのある開発については、規模・内容・目的に応じて慎重に対処していく。



乱開発規制の条例制定を

0～2歳児の無償化はいつからか

村長

保育料無償化は4月から

Q 子どもの育ちの場である保育園、3～5歳児の食料費を含む保育料無償化が10月1日から始まっている。0～2歳児の

無償化はいつ始まるのか。
A 村長 村の単独事業で、令和2年4月から実施したい。

子どものインフルエンザ予防に補助を

Q 子どものインフルエンザには2回の予防接種が必要であり、保護者の負担は大きい。その軽減のため補助をすべきではないか。
A 村長 任意接種であり、補助は考えていない。

Q 罹患すると子供はしんどい思いをし、学級閉鎖で行事や授業にも差し障る。
A 1歳～小学卒業までは2回接種で6000円、治療費も約6000円と聞く。同じ費用なら、予防医療にすべきでないか。

0～2歳児も無償に



鈴木かほる 議員

A 村長 予防は大事、次年度の検討にする。

村民要望に沿った高齢者福祉施設を

Q 高齢者福祉施設用地・事業者などの状況は。
A 村長 レイクの改装には、設計に880万円かかり、府の補助対象にならない。

Q 75歳以上の高齢者は670人。
A 村の介護施設、必要なのは①介護保険が使える。

②村内にあり、村民が使える。③利用額が高額でない。④サービスが夜も利用できる。⑤規模は小さく。⑥建設費の補助。以上の条件に合うのは「小規模多機能型」の施設だが、どうか。

A 村長 来年の策定計



親子でリズムあそび（ひよこ広場）

画に、前向きに取り組む。

Q 泰阜（やすおか）村へは行政と議会で視察にも行った経緯もある。今後とも一緒に進めるべきだ。
A 村長 総務厚生委員会と共に検討していく。

Q 今期介護保険事業での介護人材育成の成果は。
A 村長 昨年の研修者は村内で働いている。今年には男性も受けている。

Q 「はつらつ健康教室」の利用者は「わずか50円で友達もできる」と喜んでいる。もっと宣伝を。
A 村長 検討していきたい。

Q 「ひよこ広場」など子育て・教育の進んだ施策を村民や移住希望者に情報発信を。
A 村長 3人の保健師が妊娠から出産、育児、子育てに、顔の見える相談活動で母子支援をしている。HPの更新を進めたい。

HPなどでの丁寧な情報発信を

Q 死亡時や結婚・出産などの届けにも窓口で分かりやすい案内をしては。
A 村長 死亡時は1回の届けだけでは済まないが、分かり易く案内したい。HPも充実したい。

Q 死亡時や結婚・出産などの届けにも窓口で分かりやすい案内をしては。
A 村長 死亡時は1回の届けだけでは済まないが、分かり易く案内したい。HPも充実したい。

Q 死亡時や結婚・出産などの届けにも窓口で分かりやすい案内をしては。
A 村長 死亡時は1回の届けだけでは済まないが、分かり易く案内したい。HPも充実したい。

議会報告会(第5回)

令和元年11月30日(土)

午後2時から5時まで

参加人数
20人

5回目の議会報告会(やまなみホール研修室)

全体報告の内容

Q 予算委員会でウィンドウズ7サポート終了に伴う費用が高すぎるのではないかと。パソコンの更新に5千6百万円は高すぎるのではないかと。
A 民間のパソコンと違い行政専用の特殊端末だ。仕様も特殊になっているので、簡単に比較はできない。

Q 高度情報ネットワークの民間への移行はどうなっているのか。
A 現行の設備は、老朽化している。このままでは、3億円以上更新費用がかかる。2年間で2億5千5百万円かけて民間移行する。より安定したサービスが受けられる。

Q 道の駅の赤字はどうなっているのか。今後の

経営状況は、村民の生活に影響してくるのではないかと。
A すぐに経営に影響する金額ではないが、今後運営会社には、改善を村長から要求していくことになっている。

個別グループセッション

Aグループ

- ・ 獣害(特にイノシシ)に困っている。獣害対策を強化してほしい。
- ・ 道路の整備に力を入れて農業や民泊などにつなげてほしい。
- ・ 菌床シイタケ工場ほどうなっているのか。住民にも納得のいく説明を行政や議会からしてほしい。

Bグループ

- ・ 大河原駅と月ヶ瀬口駅の渡り階段が不便なので何とかしてほしい。
- ・ 大河原バイパスのトンネル内が暗く危険を感じる。改修を府に要望してほしい。笹瀬橋についても早く付け替えをしてもいい。

- ・ 荒廃農地の活用を補助金など利用して考えてもらいたい。

Cグループ

- ・ 村は自然と景色に恵まれているが、林業が衰退し、山が荒れている。補助金を活用して林業の育成に取り組んでほしい。
- ・ 道の駅について将来経営が不安である。
- ・ 自然と景観を良くして観光などで住民の収入源につなげてほしい。

Dグループ

- ・ 農業の活性化のためにも、農業の法人化を推奨していくべきだ。
- ・ 農業の活性化や高齢化に対応して、住民の生活に密着した。道の駅の運営に変革してほしい。
- ・ 村バスを、もつと住民の足として機能するよう改善してほしい。

議会報告会が出た質問は、行政に確認し3月「れんけい」に折り込みます。



中 窪 耕 司 さん
(56歳・田山)

第72回関西茶品評会 「農林水産大臣賞」を受賞して

今回、令和元年度 第72回 関西茶品評会 普通煎茶の部 1等1席(1位)「農林水産大臣賞」を受賞されました。昨年亡くなられた先代が始められてから約40年、受賞の喜びやご苦勞されたこと、今後の茶業経営などを伺いました。



再び頂きを目指して

今回の受賞おめでと
うございます。受賞

の知らせを聞いた瞬間は、どんな思いでしたか

「青天の霹靂」という言葉があります、まさにそういう気分で飛び上がっていました。

この品評会出品への思いは

父の代から何度も何度も挑戦し、過去1等3席(3位)が3回、1等2席(2位)が3回、その度に悔しい思いをしてきました。本当に高き山の存在で、「いつになったら頂上へたどり着けるのか」と思い続けてきました。

ご苦勞された事は

6次化・ネット販売・直販にも注力

今後はどうされますか
続けなければ、摘み子の方々との繋がりも無くなる訳ですし、慢心せず更に更なる努力を怠らず再び頂きを目指して挑戦し続けたいと思っています。

お手伝いくださる方や、摘み子さんに60〜80人集まって頂くのに苦勞します。少し前まではこちらから連絡し、集まって頂いたのですが、今は引退される方も多く、役場や関係する方々にもお手伝い願っています。

茶業経営の現状は

経営面積は4haで、すべて採み茶です。その内10aぐらい和紅茶もやっています。和紅茶は、道の駅を中心に直販しています。

今後の茶業経営をどのように展開されますか
幸い長男夫婦も後継となつていきますので、私の体力が続くまでもう少し規模拡大をしたいと思っています。

和紅茶も続けていきたいですし、長男と協力して6次化やネット販売・直販にも力を入れていきたいと思っています。

議会だよりへのご意見・ご要望は議会事務局
☎0743-93-0121

またはd-gikai@vill.minamiyamashiro.lg.jpまで

「議会だより」は村のホームページでもご覧いただけます。

南山城村役場ホームページアドレス

<http://www.vill.minamiyamashiro.lg.jp>

南山城村 議会だより

検索

議会傍聴にお越し下さい 3月議会日程表(予定)

2月26日(水)	一般質問
3月3日(火)	議案審議
6日(金)	予算決算常任委員会
9日(月)	〃
11日(水)	議案審議
16日(月)	会期末

〔表紙〕

やまなみホール駐車場
より放水訓練(出初式)

撮影日 1月12日